



RI会長 ステファニー・アーチック

2024-2025年



Rotary District 2640 Japan

創立50周年 ROTARY CLUB OF KAINAN EAST 海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2202 回例会



2024 年 12 月 16 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

会員卓話 IDM 報告



1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 25 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 65.79% 前回修正出席率 76.32%

4. 会長スピーチ 会長 田岡 郁敏 君

皆さんこんにちは。今日は、先日から行われていたIDMの報告をしていただきます。各グループで発表される皆さん今日はよろしくお願ひいたします。

先週に行われました理事会の報告をさせていただきます。



まず、例会プログラムの変更についてお知らせいたします。2月は当初23日に海南西ロータリークラブとの合同清掃(海南クリーンアップ作戦)となっていましたが、2月9日の日曜日に変更させていただきました。近くになりましたらまたご報告いたしますが、9日は例会扱いとさせていただくため、翌日10日の昼例会はございませんので、ご注意お願ひします。また6月23日は最終例会の予定でしたが、今期カルガリーの世界大会と重なり、会長、幹事ほか 5 名が参加予定のため第 5 週ではございますが 30 日に変更させていただくことになりました。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

また、今期家族会は 5 月の 18 日日曜日を中心に岡親睦委員長に考えてもらっています。できるだけ予定を空けていただき多くの会員とご家族の皆様に参加していただければと思います。岡さんよろしくお願ひいたします。

次に 2025 年度の米山記念奨学生の受け入れは、世話クラブとして応募することになりました。昨年度は残念ながらマッチングされませんでしたが、今期は期待して結果を待ちたいと思います。またカルガリー国際大会の登録料に関して今期は予算の関係

上、半額を補助することになりました。50 周年事業に際し来賓の方々、宮崎中央 RC や海外からのゲストの迎える準備について実行委員会メンバーのみならず、会員皆さんのご協力ご参加をお願いいたします。歓迎の垂れ幕もいつも寺下さんにご負担おけしますが、よろしくお願ひいたします。

朝晩、かなり冷え込む日が多くなってきています。みなさま、お体ご自愛ください。

5. 幹事報告 幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

田辺東 RC 1月8日(水) 18:00~

新年家族会(ホテルシーモア)
海南西 RC 1月23日(木)→18日(土)
19:00~ ホテルグランヴィア
(新年家族例会)

○例会休会のお知らせ

和歌山城南 RC 12月26日(木) 1月2日(木)

田辺東 RC 1月1日(水) 15日(水) 29日(水)

海南西 RC 1月2日(木)

6. 会員卓話 IDM報告

○1組 発表 鳥羽 弘基 君

12月 4 日 19 時、美登利にて
参加者 上野山、土井、千賀、
田岡、鳥羽の5名。



テーマ①

【ロータリーを楽しんでいます
か？ ロータリーライフ充実していますか？】

①5名のメンバーは充実している。

②交流をもう少し増やしたい。

③会えない人に出会えるから楽しい。

④ゴルフをしない人に配慮が必要です。

⑤会長は時間が足りない。

テーマ② 【クラブに対しての今後の希望する事
は何ですか？】

①50周年～100周年を目指す。次世代の育成

②時代に合わせる事が大切です。

③メンバー減さない事。

④増員計画を作成する。

12月は「疾病予防と治療月間」です

四つのテスト 対応はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

Rotary



事務所 〒642-0002

海南省日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

テーマ③ 【クラブに対して皆様が感じている印象はどうですか？】

- ①皆様に参加してもらえるクラブであるか？
- ②40名の会員が色々と経験してもらう事が大切。
- ③子供食堂も現場に行って感じる事がある。

○2組 発表 中西 秀文 君

12月9日 19:00～

参加者 中西、上田、倉橋、宇恵、
角谷、奥、楠山 7名
(欠席 総田)



IDMとは、井戸端会議のようにお互い参加者が気軽に自由に意見交換できるという意味合いがある。

テーマは3つありましたが、お互い活発な意見が出て、全員一致したことは、海南東 RC は楽しくて居心地がいいという事です。それと非常に楽しかったのが良かったです。奥君が久しぶりに参加してくれて色々な話しができて、これこそIDMの良さだと実感しました。

次にクラブに対しての要望ですが、IDMの回数を増やしてほしい。クラブからの補助が無くてもいい。本音で色々な話しができ、例会ではできないこともIDMならできるので。

新旧委員会の引継ぎをしてほしい。引継ぎされていないので分からぬ事がある。委員会活動中に参加できなくても、必要な時に声をかけてくれれば、喜んで協力しますという意見。

会員増強で推薦者に、ロータリークラブはどういうところですかと聞かれた時、わかりやすく説明するには、どうしたらいいですか、という質問がありました。大まかに以上ですが大変有意義なIDMになったと思います。時間の経つのも忘れて二次会でも盛り上がりました。

○3組 発表 大江 久雄 君

11月28日 谷脇さんをリーダーとして、花畠さん山東さん楠部さん岡さん大江の6名参加で開催されました。



今回のIDMのテーマは、①ロータリーを楽しんでいますか？ロータリーライフ充実していますか？②クラブに対して、今後、希望することはなんですか？

③今一番クラブに対して、皆さんが感じている印象はどうですか？と言うテーマだったので、今回は、だっくばらんに話しました。

今年理事をして、例会出席も多くなりましたが、仕事もあるので毎回例会出席も大変である。

まだロータリーの分からぬ所もあってあまり楽しめていない。またロータリーに入って、楽くなったりきっかけは、例会出席も悪かったけど、SAAになってから毎回出席するようになり、その後社会奉仕委員長、幹事して、ロータリーが分かってきてから楽しくなった。

ロータリーに入ったら、例会出席し、自分の名前を覚えてもらい、奉仕活動を通じて役員理事をして、親

睦を深めたら良いと思う。ロータリーでは、奉仕活動と共にゴルフクラブや他の同好会を楽しんだら良いと思う。他のロータリークラブに方と普段別の所で交流があるが、ロータリアンとして付き合えば、また話の内容が濃くなってきて、それはありがたいことである。と言う意見がありました。

海南東ロータリークラブは、2640地区の中でどの位置にいるかを考えたら、やはり会員40名に届いていると言う事は、2640地区の中でも、相当な位置にあると思うから、みんなもっと認識してもらったら、良いと思いますと言う事でした。それから海南東ロータリークラブの創立した先輩の話になって、今は会員も二代目の方が多くなり、これからもっと活性化して盛り上げたら良いと思う。それから海南東浜の話になり、先輩から昔の東浜等の事を聞いたりして、この日の会は、皆さん和気藹々と楽しく交流を深めました。

○4組 発表 植原由希子 君

11月25日(月)19:00～うたげ

出席者 山畠、山名、上中、桑添、岸
田中淳、前田誠、植原
(8名全員参加)



テーマ

◆ロータリーを楽しんでいますか？ロータリーライフ充実していますか？

- ・全員→楽しい、充実している。
- ・ロータリーで初めて経験するが多く、大変。
- ・初めての役割も例会ごとに経験していくことで、慣れてきた。
- ・夜のみの参加が多いが、40年続けている。
- ・地元のことから世界規模にわたり広く奉仕活動や交流を行うRCの活動に魅力を感じている。

◆クラブに対して、今後希望することは何ですか？

- ・委員会で、委員長だけが考えて実行することが多々ある。委員長にとっても負担が大きい。もっと委員会メンバーとつくれたらしいと思う。

◆今一番クラブに対して皆さんが感じている印象はどうですか？

- ・毎年同じことを繰り返すのではなく、子供食堂の支援など新たな取り組みも行い、良いと思う。

◆その他の意見から

- ・もっと会員を増やすために、家族会員制度のようなものをつくったらどうか。たとえば、奥さんは会費半額など。もしくは、会員が欠席の場合は代わりに家族が参加できる、など。

- ・費用のことで、ロータリーの会は会費で運営されているが、奉仕活動はニコニコの費用で運営されている。その認識をもって、もっとニコニコに入れてほしい！

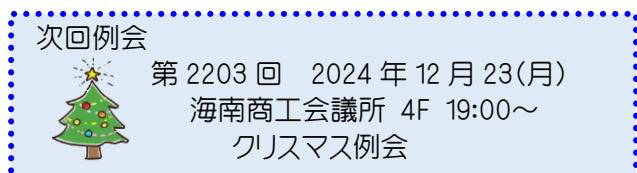
会長、ガバナー補佐、周年委員長などご経験された話など、大先輩方のさまざまな経験をお聞きする機会となり、とても有意義でした。長年先輩方が培つてこられたロータリーカラブについて、もっとこれからもお話を聞きたいと思います。

○5組 発表 前田 克仁 君
11月 29日(金) 19:00~ うたげ
出席者 花田、寺下、魚谷、才力、
前田克 5名
食事をしながら各テーマについて
意見を出し合いました。



- テーマ
- ①ロータリーを楽しんでいますか？ ロータリーライフ充実していますか？
みんなそれぞれ自分なりに楽しみ、充実したロータリーライフを送っている
 - ・普段の例会の食事、卓話
 - ・地区大会や国際大会に参加することで、普段とは違った雰囲気を味わうことができ、いろんな人と出会うチャンスにも恵まれる
 - ・三役や理事会メンバーになると忙しく時間を工面するのが大変だが、クラブの運営についての理解が深まりより楽しく充実感も得られる
 - ・一番ロータリーを楽しみ充実している人は？=榎原さん！
 - ②クラブに対して今後希望することは何ですか？
・活動を縮小することなく 60 年、70 年と継続していくこと=会員増強
 - ・会員数 45 名前後になれば財務的にも心配がなくなる。
 - ③今一番クラブに対して皆さんを感じている印象はどうですか？
・10 年、20 年前に比べると会員数は減少したが、調和がとれている。
 - ・地区の中では会員数は多いほうであり活動内容は充実している。
 - ④その他(自由討論)
花田さんの経験談や、各自の思い出話に花が咲きました。

7.閉会点鐘



台灣・彰化東南RCを訪問
12月 4 日、5 日に寺下 卓、前田 克仁、宇恵 久視の 3 人は、1月 19 日に開催する創立 50 周年記念式典への招待を含め、コロナ以来、訪問していなかつた姉妹

クラブの台灣・彰化東南RCを表敬訪問しました。

12月 4 日、台灣高速鉄道の台南駅に到着。吳志輝会長はじめ、幹事の林錦國さん、国際奉仕委員長の林政雄さん、前会長の楊子文さんが出迎えてくれました。夜は、サプライズの歓迎会、翌日は、3組 12 人でゴルフを楽しみ、友好を深めてきました。



私たちは公式な訪問ではないので、歓迎会等を辞退するなど、お世話をかけないよう、事前にお願いしていましたが、彰化東南RCの有志の方々に手厚い接待を受け、恐縮するも、皆さん熱い歓迎に感謝、感激いたしました。厚く御礼申し上げます。



トルコの 2 度の大地震から 1 年以上が経過した現在も、ロータリーは活動し、多くの人にとて立ち上がる力となっています。

「連鎖破壊」と救済策

トルコは、致命的な地震が起きたことで知られています。三つの地殻プレートが交差する地点に位置しており、四つ目よりも小さなプレートがほかのプレートに挟まれています(この状況について、科学者はスイカの種を指でつまみ、それが飛び出す様子に例えます)。この 2023 年 2 月 6 日に発生したマグニチュード 7.8 の地震は、トルコを襲った地震としては 80 年以上ぶりの大地震でした。

震源地はトルコ南中央部のカラマンマラシュ付近で、シリアとの国境近く、アディヤマンからは約 120 キロメートルの距離でした。



科学者が「連鎖破壊」と呼ぶ現象により、東アナトリア断層の挟まれた岩盤が、合計で約 300 キロメートルにわたって引き裂かれ、場所によっては約 8 メートルも地盤が移動しました。9 時間後、マグニチュード 7.5 の同規模の地震が、都市の北側で発生しました。これは地震学者が「双子地震」と呼ぶもので、これにより被害はさらに広がりました。このトルコとシリアを襲

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ったこの地震により、数百万人が家を失いました。

ロータリーが動く

トルコ南部の壊滅的な被害のニュースが伝えられると、同国のほかの地域のロータリークラブは、何とかして支援しようと躍起になりました。「すぐに物資を送ろうという気持ちはありました、送ったとして、それを引き取って配布し、確実に人びとに届けてくれる人がいるでしょうか」とベイサンさんは話します。地震の翌日、ベイサンさん、オズトゥルクさん、デュルストさんは、それぞれの地区内クラブと会合を開き、計画の概要を説明しました。

彼らは、被害の大規模な6都市に即座に救援センターを設置しました。ロータリークラブ会員が救援センターの運営を担当し、住民のニーズを把握して、寄贈者が適切な物資を送れるよう連絡を取りました。3地区のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターフードクラブは、食料、水、発電機、ヒーター、おむつ、生理用品、燃料、おもちゃ、遺体袋など、200台以上のトラックに積まれた緊急物資を送りました。

地震が発生した当日、被災地では摂氏2.2度まで気温が下がり、その後の数日間は氷点下になりました。雨嵐が吹雪に変わった地域もあり、生存者は凍えるような風と低体温症と闘いました。第2440地区にはテントの備蓄があり、すぐに地中海沿岸のイスケンデルンにテント村を設置。ロータリーカー会員は、トルコの災害対策局が引き継ぐまでの1ヶ月以上にわたって、このテント村を管理しました。「私たちは、その地域で最初に到着したNGO（非政府組織）でした」と、ベイサンさんは話します。アディヤマンとキルクハーンにも、すぐにテント村ができました。ロータリークラブは、災害救援におけるロータリーのプロジェクトパートナーであるシェルターボックスと協力し、2,500張以上のテントを配布。また、地元リーダーたちにシェルターボックスを紹介するなど、救援活動において重要な役割を果たしました。



三つのテント村、六つの調整センター、アンカラの自宅の間を何度も往復し、目にしたことを報告し、今後の対応について計画を立てました。同様にニーズを把握し、支援を行うために現地を訪れました。さらにトルコの第2420地区と第2440地区が避難民救済のために開設しました。

一方、他国のロータリーカー会員も、トルコでの活動を支援するために立ち上りました。地震発生から数時間後には、当時のジェニファー・ジョーンズ RI会長がロータリーの災害救援活動を開始し、その週のうちにロータリーは専用の基金を設置。270万ドル以上の寄付が寄せられました。さらに、ロータリー財団のグローバル補助金を利用した支援活動に総額約140万ドルが投じられました。シリアにはロータリークラブがないため、プロジェクトはトルコに限定されました。

シリアでは、10年以上にわたる内戦によって引き起こされた人道危機が、地震によって、さらに深刻化しました。

ロータリー世界全体から、救援物資や直接寄付が寄せられ、ボランティアも集まりました。インドネシアのロータリーアクション医師からも、「医療物資を持って向かう。2日後には到着する」とのテキストメッセージが届きました。その医師は数週間にわたってテント村に住み込み、人びとの治療にあたりました。

ロータリー会員が被災地で支援した四つのコンテナ都市のうちの一つとなりました。これは、計画の第2段階です。ロータリー会員からの寄付により、プレハブの小住宅350戸が提供されました。アディヤマン北端に位置するこの仮設都市には、ロータリーが支援した住宅が並び、二つの通り(Imagine StreetとHope Street)がのびています。

改良された輸送用コンテナが整然と並べられ、トイレ、シャワー、調理器具、ベッド、エアコンといった必需品のための十分なスペースが確保されているほか、テレビ、ポーチ、庭といった家庭としての快適さにも配慮が行われています。

日本からの支援で幼稚園を建設

災害は、日常生活のほぼあらゆる側面に影響を与えました。ロータリー会員が支援したプロジェクトも、その例を挙げると、浄水場の設置、農家の苗や牛の提供、動物病院の開設など多岐にわたります。「ロータリーは、この地で素晴らしい活動を行いました」とベイサンさん。「人びとは生活を再建しようと努力しています。その姿を見るのは、とても嬉しいことです」しかし、ロータリーアクションの対応計画の三つ目の柱である持続可能な長期的プロジェクトとなると、幼稚園の建設が最も優れた例であると言えるでしょう。



アディヤマンにある一つの幼稚園が破壊された後、日本のロータリーアクションからの支援で、一から新しい幼稚園が建てられました。

可能性ではなく時間の問題

ポリオ根絶に向けた進展が続く

ポリオの問題は「根絶されるのか」ではなく、「いつ根絶されるか」です。ロータリー会員は、ポリオワクチンが開発された地であるピツツバーグで世界ポリオデーにちなんだパネル討論を主催しました。このパネルでは、ポリオの根絶に尽力するリーダーたちがユニークな視点が提供し、継続的な支援とイノベーションが目標に近づくためにどのように役立つかをディスカッションしました。

